

平成18年3月期

## 第1四半期財務業績の概況(連結)

平成17年7月27日

上場会社名

四国化成工業株式会社

コード番号:4099 東証第一部

(URL: <http://www.shikoku.co.jp/>)

代表者

代表取締役社長

吉岡 隆

問合せ責任者

執行役員 企画・管理担当

富田 俊彦

TEL 0877 22-4111

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無

有

(内容) 当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当第1四半期において発生していると認められる額を計上しております。

法人税等の計上基準は、年間予測税率により計算しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無

無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無

無

## 2. 平成18年3月期第1四半期財務業績の概況(平成17年4月1日～平成17年6月30日)

## (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期 第1四半期	9,394	2.7	1,062	54.7	1,117	53.3	647	33.5
17年3月期 第1四半期	9,144	6.0	686		729		485	
(参考)17年3月期	36,305		2,902		2,772		1,506	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期 第1四半期	11.16		11.15	
17年3月期 第1四半期	8.38		8.38	
(参考)17年3月期	25.44		25.44	

## (2) 財政状態(連結)の変動状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期 第1四半期	50,532	25,033	49.5	430.99
17年3月期 第1四半期	48,655	23,525	48.4	406.33
(参考)17年3月期	49,733	24,616	49.5	423.89

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期 第1四半期	23	535	882	4,079
17年3月期 第1四半期	109	646	826	3,984
(参考)17年3月期	2,699	777	787	3,749

## 3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	18,000	1,500	900	15.18
通期	36,800	2,900	1,550	26.14

(注) 上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 平成 18 年 3 月期 第 1 四半期連結業績の概況 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日)

### 経営成績および財政状態

#### (1) 当第 1 四半期の経営成績および通期の見通し

当第 1 四半期 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日) のわが国経済は、原油価格の高騰やアジア向け輸出の減速ならびに IT 関連の在庫調整遅れなど景気後退の懸念材料が生じましたが、個人消費や設備投資が堅調さを維持するとともに米国経済の好況持続により、景況感の回復や雇用情勢の改善が見られました。

このような状況下、化学品事業では IT 関連のファイン ケミカル部門は一部に停滞感が見られましたものの堅調に推移しました。また、無機化成品部門は生産・販売の調整を行う一方で拡販と採算性の向上に努め、有機化成品部門は市場環境の変化に機敏に対応いたしました。建材事業は、熾烈な市場競争のなか採算性の向上と拡販に努めました。

この結果、当第 1 四半期の連結売上高は 93 億 94 百万円 (前年同期比 2.7% 増) となりました。利益関連の指標のうち営業利益は、10 億 62 百万円 (前年同期比 54.7% 増)、経常利益は 11 億 17 百万円 (前年同期比 53.3% 増)、当第 1 四半期の純利益は 6 億 47 百万円 (前年同期比 33.5% 増) となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 化学品事業

無機化成品は、不溶性硫黄の増強工事に備え在庫水準を適正に是正したことから販売は前年同期を下回りました。二硫化炭素は内外で拡販に注力し、無水芒硝は採算性の向上に努めました。

有機化成品は、殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は、国内では浴用殺菌用途の一般感と季節要因により微減となりましたが、海外においては米国市場の回復と為替の影響から好調に推移しました。耐熱電線向けのセイクは、収益体質の改善に注力いたしました。廃水処理剤であるハイポルカは、市場開拓に注力し微増となりました。

ファイン ケミカル商品は、プリント配線板向けの水溶性防錆剤であるタフエースは引き続き好調に推移しました。一方、エポキシ樹脂硬化剤を主用途とするイミダゾール類は在庫調整遅れなど停滞感が見られました。

以上の結果、化学品事業の売上高は 51 億 37 百万円、営業利益は 10 億 8 百万円でありました。

#### 建材事業

壁材は、内装材の充実や、天然素材を用いた舗装材、多彩な施工が可能な外装材の拡販に注力するとともにテレビCMを実施したことなどにより引き続き堅調に推移しました。

景観エクステリアは公共事業の縮小するなか、環境対応型商品の拡販やセキュリティ機能を備えた商品群の充実により前年の水準を上回りました。一方、住宅エクステリアは競争激化の影響を受けました。

以上の結果、建材事業の売上高は 40 億 64 百万円、営業利益は 3 億 80 百万円でありました。

#### その他の事業

情報システム事業は、開発受託物件の小型化の影響を受けました。ファーストフード事業は、新商品の投入とサービスの充実注力したものの消費者志向の変化により低調に推移いたしました。

以上の結果、その他の事業の売上高は 1 億 92 百万円でわずかながら営業損失となりました。

通期の見通しについては、本年 5 月 13 日の決算発表時の業績予想からの変更はありません。

#### (2) 財政状態

当第 1 四半期の連結キャッシュ・フローに関し、連結ベースの現金及び現金同等物 (以下「資金」という。) は、前期末に比べ 3 億 30 百万円増加し、40 億 79 百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前第 1 四半期純利益が 10 億 92 百万円、減価償却費が 3 億 1 百万円でありましたが、売上債権の増加や法人税等の支払いの増加、さらに未払費用の減少などにより 23 百万円の減少となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産や投資有価証券の取得による支出などにより 5 億 35 百万円の減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払がありましたものの短期運転資金の調達と長期借入の実施などにより 8 億 82 百万円の増加となりました。

## (3) 要約連結貸借対照表

科 目	前第1四半期末 (平成16年6月30日現在)		当第1四半期末 (平成17年6月30日現在)		(参考) 前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
<b>(資産の部)</b>						
流動資産	( 21,014)	43.2	( 22,043)	43.6	( 21,202)	42.6
現金及び預金	4,072		4,111		3,760	
受取手形及び売掛金	10,268		11,461		10,853	
有価証券	10		1		10	
たな卸資産	5,772		5,601		5,710	
繰延税金資産	726		710		750	
その他の	208		204		162	
貸倒引当金	44		46		45	
固定資産	( 27,641)	56.8	( 28,488)	56.4	( 28,530)	57.4
有形固定資産	( 19,315)	( 39.7)	( 19,214)	( 38.0)	( 19,390)	( 39.0)
建物及び構築物	6,029		5,788		5,869	
機械装置及び運搬具	3,284		3,093		3,255	
土地	9,453		9,631		9,631	
建設仮勘定	72		215		109	
その他	475		485		525	
無形固定資産	( 195)	( 0.4)	( 232)	( 0.5)	( 239)	( 0.5)
投資その他の資産	( 8,131)	( 16.7)	( 9,041)	( 17.9)	( 8,900)	( 17.9)
投資有価証券	7,391		8,236		8,116	
その他の	741		805		784	
貸倒引当金	2		0		0	
<b>資産合計</b>	<b>48,655</b>	<b>100.0</b>	<b>50,532</b>	<b>100.0</b>	<b>49,733</b>	<b>100.0</b>
<b>(負債の部)</b>						
流動負債	( 13,580)	27.9	( 14,085)	27.9	( 13,995)	28.1
支払手形及び買掛金	6,675		7,075		6,819	
短期借入金	3,800		3,700		2,800	
一年内返済長期借入金	452		344		496	
未払法人税等	322		437		698	
その他	2,329		2,527		3,180	
固定負債	( 11,550)	23.7	( 11,412)	22.6	( 11,121)	22.4
長期借入金	7,725		7,528		7,228	
繰延税金負債	0		0		0	
再評価に係る繰延税金負債	1,435		1,435		1,435	
退職給付引当金	2,271		2,323		2,334	
その他	117		124		122	
<b>負債合計</b>	<b>25,130</b>	<b>51.6</b>	<b>25,498</b>	<b>50.5</b>	<b>25,116</b>	<b>50.5</b>
<b>(資本の部)</b>						
資本金	6,867	14.1	6,867	13.6	6,867	13.8
資本剰余金	5,741	11.8	5,741	11.3	5,741	11.5
利益剰余金	9,686	19.9	10,709	21.2	10,299	20.7
土地再評価差額金	830	1.7	830	1.6	830	1.7
その他有価証券評価差額金	1,153	2.4	1,348	2.7	1,387	2.8
為替換算調整勘定	51	0.1	45	0.1	53	0.1
自己株式	703	1.4	418	0.8	456	0.9
<b>資本合計</b>	<b>23,525</b>	<b>48.4</b>	<b>25,033</b>	<b>49.5</b>	<b>24,616</b>	<b>49.5</b>
<b>負債少数株主持分 及び資本合計</b>	<b>48,655</b>	<b>100.0</b>	<b>50,532</b>	<b>100.0</b>	<b>49,733</b>	<b>100.0</b>

## (4) 要約連結損益計算書

科 目	前第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日		当第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日		(参考) 前連結会計年度 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	9,144	100.0	9,394	100.0	36,305	100.0
売 上 原 価	5,950	65.1	5,895	62.8	23,554	64.9
売上総利益	( 3,194)	34.9	( 3,498)	37.2	( 12,750)	35.1
販売費及び一般管理費	2,507	27.4	2,436	25.9	9,847	27.1
<b>営業利益</b>	( 686)	7.5	( 1,062)	11.3	( 2,902)	8.0
営業外収益	( 106)	1.2	( 111)	1.2	( 157)	0.4
受 取 利 息	1		3		6	
受 取 配 当 金	68		94		104	
持分法による投資利益	-		3		-	
雑 収 入	35		8		46	
営業外費用	( 63)	0.7	( 55)	0.6	( 287)	0.8
支 払 利 息	22		21		144	
手形売却損	7		2		18	
持分法による投資損失	2		-		1	
売 上 割 引	26		28		99	
雑 損 失	4		3		23	
<b>経常利益</b>	729	8.0	1,117	11.9	2,772	7.6
特別利益	( 93)	1.0	( 19)	0.2	( 183)	0.5
投資有価証券売却益	93		10		146	
固定資産売却益	-		9		-	
国庫補助金収入	-		-		32	
貸倒引当金戻入益	0		-		4	
特別損失	( 72)	0.8	( 45)	0.5	( 556)	1.5
固定資産除却損	0		4		362	
役員退職慰労金	71		40		71	
火災損失	-		-		77	
その他	-		-		44	
税金等調整前						
四半期(当期)純利益	750	8.2	1,092	11.6	2,400	6.6
法人税、住民税及び事業税	301		427		1,084	
法人税等調整額	35		16		191	
<b>四半期(当期)純利益</b>	485	5.3	647	6.9	1,506	4.1

## (5) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	期 別	前第1四半期	当第1四半期	(参考)
		自平成16年4月1日 至平成16年6月30日	自平成17年4月1日 至平成17年6月30日	前連結会計年度 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益		750	1,092	2,400
減価償却費		317	301	1,301
退職給付引当金の減少額( )または増加額		45	10	108
受取利息及び受取配当金		70	98	111
支払利息		22	21	144
投資有価証券売却益		93	10	146
有形固定資産除却損		0	4	362
有形固定資産売却益		-	9	-
国庫補助金等収入		-	-	32
売上債権の増加額		954	578	1,576
たな卸資産の減少額		376	117	431
仕入債務の増加額		394	218	547
未払金の減少額( )または増加額		217	132	111
未払費用の減少額( )または増加額		242	260	21
その他 (純額)		82	53	11
小計		248	603	3,574
利息及び配当金の受取額		70	98	111
利息の支払額		22	21	144
法人税等の支払額		405	704	875
国庫補助金等収入		-	-	32
営業活動によるキャッシュ・フロー		109	23	2,699
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有価証券の償還による収入		-	9	-
有形固定資産の取得による支出		200	396	1,078
有形固定資産の売却による収入		339	28	339
有形固定資産の除却による支出		0	3	176
投資有価証券の取得による支出		0	191	618
投資有価証券の売却による収入		397	17	717
貸付けによる支出		0	-	77
貸付金の回収による収入		2	6	10
定期預金の純増加額( )または減少額		9	20	85
その他 (純額)		99	14	21
投資活動によるキャッシュ・フロー		646	535	777
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増加額または純減少額( )		889	900	110
長期借入による収入		300	300	300
長期借入金の返済による支出		176	152	628
ストックオプション行使に伴う自己株式売却による収入		18	39	64
自己株式の取得による支出		1	1	7
配当金の支払額		202	202	405
財務活動によるキャッシュ・フロー		826	882	787
現金及び現金同等物に係る換算差額		4	6	0
現金及び現金同等物の増加額( )：減少額)		1,368	330	1,133
現金及び現金同等物の期首残高		2,616	3,749	2,616
現金及び現金同等物の期末残高		3,984	4,079	3,749

(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 6社

2. 持分法の適用に関する事項

持分法適用の関連会社数 1社

3. 連結子会社の四半期連結決算日に関する事項

すべての連結子会社の四半期決算日は、四半期連結決算日と一致しております。

4. 会計処理基準に関する事項

当社は、中間連結財務諸表等の作成基準を基本としておりますが、投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、以下の事項について簡便な手続きを採用しております。

退職給付引当金の計上基準 ... 当社及び連結子会社は、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当第1四半期において発生していると認められる額を計上しております。

(セグメント情報)

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期(平成16年4月1日から平成16年6月30日まで) (単位 百万円)

	化学品事業	建材事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	4,971	3,884	288	9,144	-	9,144
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	(-)	-
計	4,971	3,884	288	9,144	(-)	9,144
営業費用	4,129	3,718	285	8,133	324	8,457
営業利益	842	166	2	1,011	(324)	686
営業利益率(%)	16.9	4.3	0.9	11.1		7.5

当第1四半期(平成17年4月1日から平成17年6月30日まで) (単位 百万円)

	化学品事業	建材事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(2)外部顧客に対する 売上高	5,137	4,064	192	9,394	-	9,394
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	47	47	(47)	-
計	5,137	4,064	239	9,441	(47)	9,394
営業費用	4,128	3,683	240	8,053	278	8,332
営業利益	1,008	380	1	1,387	(325)	1,062
営業利益率(%)	19.6	9.4	0.5	14.7		11.3

前連結会計年度(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで) (単位 百万円)

	化学品事業	建材事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(3)外部顧客に対する 売上高	17,721	17,355	1,228	36,305	-	36,305
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	253	253	(253)	-
計	17,721	17,355	1,482	36,559	(253)	36,305
営業費用	15,195	15,745	1,422	32,363	1,039	33,402
営業利益	2,526	1,609	59	4,195	(1,293)	2,902
営業利益率(%)	14.3	9.3	4.0	11.6		8.0